

安全作業手順書 【[雪氷]液作り作業】



セーフティーパイプ

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微	△ 重大	× 極めて重大
可能性(A)	(不休と休業3日以内)	(休業4日以上)	(死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要 <small>現時点では必要なし (様子を見る)</small>
△○、○△	かなり小さい	2	対策の必要なし
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	床上操作式クレーン	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 手袋、軍手、皮手袋

作業区分		作業手順・作業内容		急所		危険ポイント (～なので～になる)			リスクの見積り (A) (B) リスク			安全対策(危険度2以下へ) (私達は どうする)			リスクの再見積り (A) (B) リスク		
準備工	作業確認	雪氷作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1						
		作業員の役割を決める	①作業員全員で	/	/	/	/	/	/	/	/						
		作業前にクレーンの点検を行う	②操作資格者を確認して 複数人で	無資格者が操作、操縦を行ってしまう	○	×	3	必ず資格証を持参し、現場責任者は所持を確認する	○	△	2						
車両回送手順書に則る																	
本作業	液容量の確認	精製量を定める	溶液層の容量を確認して	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
	塩の確認	必要水量の16%の原塩を準備する	①tバックの単位に合わせて	無資格者がクレーンを操作し、事故を起こす	△	×	4	基地長は必ず作業員全員の資格取得状況を把握し、 資格所有者は資格証を必ず持参すること	○	○	1						
				吊チェーンが破断し作業員が負傷する	○	×	3	点検を確実に、合図者は吊荷の下に絶対に入らない	○	△	2						
				作業員がトンバックと壁の間に挟まれ負傷する	○	×	3	合図者は吊荷の下に絶対に入らず、 荷の移動中は極力距離をとる	○	△	2						
	投入する原塩の準備をする	塩の固形状態を確認し、必要に応じて砕き	塩の移動中、下方作業員に剤が接触する	△	×	4	操作者は、作業員位置に十分気をつけながら作業する	○	△	2							
		①手袋などを着用して	①荷台から飛び降りて怪我をする	/	/	/	/	/	/	/							
		②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	②手・指が挟まれて怪我をする	/	/	/	/	/	/	/							
溶解槽の準備	溶解槽に水を補給する 溶解槽の水攪拌機を回転させる 溶解槽に原塩を投入する 14%の確認のため濃度を測定する	最大容量を超えないように 操作バルブの確認を行ってから 投入口に気をつけて 作業(動力系)を停止させて	凍結等で足元を滑らせ転倒する	△	×	4	作業中は足元に十分注意する	○	△	2							
			/	/	/	/	/	/	/								
仕上げ	発生材や道具を片付ける	他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う	○	○	1							
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。															